

各位

2026 年 7 月 31 日
公益財団法人日本英語検定協会

実用英語技能検定「6 級」「7 級」の導入延期について

公益財団法人 日本英語検定協会（所在地：東京都新宿区、理事長：吉田 研作、以下「英検協会」）は、2026 年度第 3 回検定より実用英語技能検定（以下、「英検[®]」（従来型））に新設を予定しておりました「英検 6 級」および「英検 7 級」につきまして、導入時期を延期することといたしましたので、お知らせいたします。

本検定の受験をご検討いただいていた皆様、ならびに学校・塾などの団体関係者の皆様には、ご迷惑をおかけすることを深くお詫び申し上げます。

■ 導入延期の理由

英検協会は、英検 6 級および英検 7 級を「英語学習の初期段階に寄り添い、生涯にわたる英語能力育成のスタートラインとなる級」と位置づけ準備を進めてまいりました。今般、小学校段階を含む外国語教育の目標・内容の在り方の審議の動向などを総合的に勘案し、導入時期を延期することが受験者の皆様の利益に最も適うと判断いたしました。

次期学習指導要領に示される新たな英語能力観を反映した級設計の検討

英検はこれまで、その時々での学習指導要領にて掲げられる英語能力観を踏まえた出題を目指してまいりました。2024 年 12 月、文部科学大臣から中央教育審議会に対し、次期学習指導要領に係る諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が行われ、2025 年 9 月には同審議会教育課程部会に「外国語ワーキンググループ」が設置されるなど、小学校段階を含む外国語教育の目標・内容の在り方について具体的な審議が進められています。同ワーキンググループでは本年 6 月までに複数回にわたり審議が重ねられており、今後、これらの審議を踏まえた中央教育審議会としての答申が取りまとめられる予定です。6 月 18 日に開催された第 13 回会合では、外国語によるコミュニケーションなどに興味・関心を持つ態度を養う方針や、小学校から中学校への円滑な接続に向けて話題・活動・指導事項を段階的に示す方針等、これまでの議論のまとめ案が審議されました。

これらはいずれも、小学生を主な対象とする英検 6 級・7 級のレベル設定や出題内容の設計に直接関わる事項であることから、英検協会としては今後取りまとめられる審議の帰結を十分に見極め、そこに示される英語能力観を的確に踏まえた設計の見直しを行うことが不可欠と判断いたしました。

■ 今後の対応

- 新たな導入時期は、上記の審議動向などを踏まえて検討し、決まり次第、英検協会のウェブサイトおよびプレスリリースにてご案内いたします。
- 既に公表しております問題形式および検定料は、導入時期の再設定にあわせて見直す予定です。詳細は改めてご案内いたします。

※英検[®]は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

・公益財団法人 日本英語検定協会 広報担当 (kouhou21@eiken.or.jp)